



あなたの認知症観、 アップデートしませんか？



◆問合先 総合福祉センター介護福祉課 ☎0745-79-0802

認知症になったら身の回りのことが何もできなくなる…。そう思っていないですか？

認知症になっても自分らしく生活をしている人はたくさんいます。あなたの認知症へのイメージをアップデートしませんか？

新しい認知症観とは

認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、住み慣れた地域で仲間とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方です。

国が策定している「認知症施策推進基本計画」には「認知症は誰もがなり得る」と記載されています。一人一人が自分事として捉え、誰もが自分らしく生き生きと暮らせる環境を作っていきましょう。

これまでの認知症観

- ・何もわからない、できなくなる
- ・別人のようになってしまう
- ・外に出ない、出さない
- ・周囲の介護が増えて大変
- ・医療や介護サービスは家族が考える
- ・他人事／なりたくない



新しい認知症観

- ・できること、やりたいことがある
- ・自分らしく、のびのび、堂々と
- ・住み慣れた地域で楽しく暮らせる
- ・社会の力で、周囲も自分も楽しく
- ・医療や介護サービスは自分で考える
- ・自分事／誰でもなる可能性がある

香芝市 チームオレンジ

認知症の人やその家族、地域住民など、誰でも気軽に集える場所です。認知症について知る、考えることができます。気軽に訪れてみませんか。

市HP



『チームオレンジ「いこい」 ゆるほぐしチャレンジ』

●活動内容

2か月に1回（偶数月）開催しています。もの忘れが気になるかたと一緒に、座りながらゆったりとしたレクリエーションを行い、心と身体をほぐします。

『傾聴・チームオレンジ ほっこりおしゃべりタイム』

●活動内容

毎月1回開催しています。もの忘れが気になるかたやその家族が抱える悩みをお聴きしています。

『傾聴・チームオレンジ「ほっこりカフェ」』

●活動内容

毎月1回、総合福祉センターで開催しています。認知症になっても、自分らしく安心して暮らし続けていけるように、支え合う交流の場です。

『チームオレンジカフェ「五ゆるり」』

●活動内容

2か月に1回（奇数月）、五位堂公民館で開催しています。ご近所にお茶をしに行くような感覚でお立ち寄りください。

『わくわくサロン「絆」 あしびオレンジカフェ』

●活動内容

2か月に1回（奇数月）、あしびハイツ集会所で開催しています。認知症に関わる講座や認知症予防につながる手軽な運動なども取り入れています。

『旭ヶ丘ふれあいオレンジカフェ』

●活動内容

認知症などに関する専門職のかたのお話を聞いたり、体操や脳トレなどを行います。